

進路通信

伊丹市立松崎中学校第3学年
第14号

令和2年(2020年)7月13日(月)

大切な「非認知能力」

もうすぐテストです。授業をしっかりと振り返って、よい結果が出るように勉強を…という、いわば定番のアドバイスではなく、今回は「非認知能力」について書きたいと思います。よろしくお願いします。

簡単に例えますと、期末テストや歌唱テストなど、点数に表すことのできる能力を「認知能力」と言います。学校の教科指導はほとんどこれにあたりますし、入学試験でも問われるものです。一方、我慢強さや礼儀正しさなど、基本的に点数化できないものを「非認知能力」といいます。

神戸大学社会科学系教育研究府の西村特命教授による、非認知能力と平均所得の研究があります。この研究は、2012年2月に、有効回答数約1万6千人分のアンケート調査により行われました。アンケートは「子どもの頃に大人からよく言われたことで、今でも覚えているものは何か」という質問に、次の8つそれぞれにイエスとノーで回答します。

- ①ルールを守る ②あいさつをする ③他人に親切にする ④勉強をする
- ⑤親の言うことを聞く ⑥うそをつかない ⑦ありがとうと言う ⑧大きな声を出す

上記8つの中で、**最も平均年収との関連性があったのは「⑥うそをつかない」**です。⑥に**イエスと回答した人の平均所得は448万5千円、ノーの人の平均所得は398万8千円**だったそうです。つまり、約50万円の差があったということです。この他にも、③①④の順番で、有意な差が現れたということです（これだけ金額で結論づけられるのもすごいものです）。

これは、子どもの頃に身につけた非認知能力が、大人になってどういう結果につながるのかという研究の一例です。他にも、国内外問わずに**非認知能力が認知能力を支えていることが証明されています**。

平均年収のことは中学生にとってはまだ先の話ですので今はあまり関係はありません。しかし、まもなく行われる期末テストとは深い関わりがあります。例えば、家庭学習は非認知能力がどれくらい養われているかが問われます。学校ではチャイムが鳴りますし、学級集団が動きますので一定の規律にしばられて行動します。先生が強く指導しなくても、始業チャイム前には全員着席しています。このように、授業前に着席して机の上に教材を置いている状態を「学習レディネス」といいますが、これが学習に向かう姿勢です。

しかし、家庭ではチャイムは鳴りませんし、集団生活の規律から離れます。そこでは例えば、誰に言われなくても、自分から机に向かうことができるかが問われるのです。



最近あった高校からの案内

(ここでは、最近あった高校からのオープンハイスクールなどの情報を載せます)

プリント …各生徒にプリント配布 **教室** …各教室に1枚配布 **配布なし** …配布なし

- 三田モードビジネス専門学校 **配布なし** オープンスクール 7/26(日)13:00-15:10
※筆記用具持参
※**〆**切 7/17(金)HPより申し込む
- 百合学院高校 **配布なし** オープンスクール 7/26(日),9/26(土) 各日 10:00-13:00
(女子校) クラブ体験会 8/1(土),8/29(土)各日 9:00-11:30
※参加希望者は、配布プリントのハガキで申し込む。
- 清風高校 **教室** 入試説明会 9/19(土),10/18(土),11/14(土)
(男子校) 個別相談会 12/6(日)受験する生徒は必ず参加してください。
※申込みなどはHPを見て下さい。

新コーナー「知ったク私立高校」第3回目 “指定校推薦”

高校から大学や短大に進学する時に、大きく分けて二つの道があります。一つは、教科のテストを受けて、点数の高い人から合格者を出す、いわゆる入試です。教科の試験による「一般入試」や、自分の実績や将来に向けた見通しなどで総合的に判定される「推薦入試」などです。

一方、「指定校推薦」という、毎年決まった人数を入学させる制度があります。高校での内部選考などを経ますが、この指定校推薦は私立高校のほうが多くの人数が確保されているといえます。

例えば、とある公立高校（松中から毎年進学している高校）の指定校推薦の人数を、そこの先生に聞いたところ、約70人ですと答えていただきました。公立高校の事情なのか、明確にはお答えいただけなかったです。しかし、私立高校では、例えば百合学院高校のオープンスクールのプリントでは、四年制大学に約350人分、短大に約150人分の合計500人分の指定校推薦の枠がありますと書いてあります。また、指定校推薦で行ける大学名も書いてあります。ちなみに、百合学院は一学年の生徒数は140人ほどです。私立高校は、大学や短大への指定校推薦を特色の一つにしているところもありますので、興味がある人はよく調べてみるといいでしょう。

もうひとつ、指定校推薦とよく似ている「パイロット校制度」について説明します。高校と大学が密接に提携し、特定の大学に内部進学のような制度を設けている高校があります。「その大学に行くためにこの高校を選びました」という感じです。この近くでは、関西大学や関西学院大学などの私立大学と提携している場合がありますので、興味があれば調べてみましょう。

